

映画「ミツバチの羽音と地球の回転」 ぜひご覧ください！

これは「未来のエネルギー」を巡る物語です。
その未来は今を生きる私たちの選択にかかっています。
祝島の人々の願いとは裏腹に目の前に建設されようとしている上
関原子力発電所は日本全国のエネルギーのあり方に無自覚な
人々によって支持されています。日本全体に浸透している「原発
がなくては快適な生活はない、原発はCO2を出さないからクリー
ン」という思い込みがいかに強力なものか、私も良く知っています。



しかし、そこを変えていかなければ新しいエネルギーの未来もあり
ません。希望は存在しています。
スウェーデンでは持続可能な未来に向けて全く発想を変えたエネ
ルギー政策がとられ、日々進化しています。この違いはいったいど
こからやってくるのか、そして私たち自身の未来に誰が責任を取るのか。

地球上の全く違う場所に住む人間の思いが映画の中で重ねあわせられ、新しい扉が開かれていきます。
ぜひ、この映画を観ていただき、そして広めていただきたいと切に願っています。
ミツバチのように地域でエネルギーの自立に向けて働く人と人がつながっていく力にこの映画がなりま
すように！
ミツバチの羽音が響き、共振していきますように！

鎌仲ひとみ

ミツバチの羽音を聞いた！

鎌仲ひとみさん、すてきな映画を作ってくれました。どんな映画に仕上がっているのかとても楽しみに試写
をして、やっぱりやってくれた！と喜びがあふれました。

この映画は、一貫して暴力というものを見据えてこられた……と私は思うのですが、鎌仲さんが探し出して
くれた私たちの今そして未来の方向です。具体的な暮らしとともに、生き方の転換にいざなってくれるメッセ
ージがじわじわと伝わってくる。それは地球の回転くらいに静かで、確実な重さで私たちを乗せている自然
な法則のように、映画を見た後にずっと続く何かなのです。

ある方が「希望の光が見せるもう一つのこの世」という言葉を伝えてくれました。私たちは残念ながら今見
ているものの中では、息苦しくて身動きできない、動けば息切れするような重力を感じます。もう一つのこ
の世を見る！まさにこの映画はその希望の光の働きをしてくれました。試写を観て以降、自分の中に持続
可能なエネルギーが働いていると感じ続けています。…そうだ、資源(エネルギー)は私自身の中
にある。私たちの住んでいるここにある。ミツバチは知っている。

映画を観た数日後、ブーンとうなる羽音に足を止めました。小さい花がたくさん咲いた庭木に、ミツバチの
群れがやってきていたのです。今まで気づかなかったのか、その光景を見たことがなかったので、不思議
なタイミングに感じ入りました。

この映画を観ることで、私たちの住む場所、また一人ひとりに働く自然のエネルギーに気付いていく方が増
えれば、さぞかし楽しい未来を創り出すことができるのではないかと、わくわくする今日この頃……。

ぜひごらんください！「ミツバチの羽音と地球の回転」

上映実行委員 後藤由美子